

特集

わたしを“啓く”場所

学習、行事、部活動、そして進路実現、こうした毎日の学校生活を頑張る碧高生1人1人が「碧南高校の魅力」です。今回は、そんな碧高の魅力を少しだけ紹介します。

進路実現



普通科 3年
福岡 伽水
刈谷市立依佐美中出身

私は進路実現のために、予習・復習はもちろん、分からないことがあればその日のうちに解決したり、自分なりにノートをもとめたりして日々努力しました。ですが、成績は思うようにならず、志望校を変更しようか悩みました。そんな時先生方に「総合型選抜」という受験方法を教えていただきました。私が1年生の時から頑張っていた生徒会執行部の一員としての活動や、地域のボランティア活動への参加など、生活面での頑張りが強みになり、第一志望の大学に合格することができました。勉強に全力で取り組むのはもちろんですが、勉強以外の面での自分の武器を作ることも一つの道だと私は考えています。努力を自信にして、将来に繋げていってほしいです。

学習



普通科 2年
加藤 美麗
西尾市立平坂中出身

私は、何事にも高い目標を持ち、今の自分に足りない部分を補うために何が必要なのかを考えて行動するように心がけています。そのために大切にしていることは、「道筋を立てて行動すること」です。経営学を学ぶため大学進学を目指している私は、授業や補習、小テストを大切に、小さな成功を積み重ねることで自分の自信と実力の向上に繋げています。部活動では吹奏楽部の部長となり、大変なこともあります。やりがいのある充実した日々を送っています。自分の目標達成のため、粘り強く努力を続け、「あの時あしておけば良かった」と後悔することがないように、文武両道で悔いのない3年間を送りたいと考えています。

学習



普通科 1年
杉澤 恒希
碧南市立西端中出身

僕は、「文武両道の高校生活」を目標に、碧南高校に入学しました。入学直後はクラスに同じ中学校出身の人が少なく緊張していましたが、授業内のペアワークをきっかけにクラスの皆と話すようになり、新しい友人をたくさん作る事ができました。部活動の中でもクラスの違う人と打ち解け、活動に打ち込む事ができています。学習・部活動どちらも妥協せずメリハリをつけて活動でき、多くの友人と優しい先生方のおかげで楽しく生活し、自分の目標に一步步近づける事ができていると思います。碧南高校に入学できて本当に良かったです。

進路実現



総合ビジネス科 3年
平岩 柊佑
碧南市立東中出身

就職に有利だという漠然とした理由で、僕は総合ビジネス科へ入学しましたが、毎日勉強の結果、簿記・パソコンやビジネスマナーなど、たくさんの資格を得ることができました。学習に必死で取り組んだ自分ですが、それ以外に一つだけ意識していることがあります。それは、「自分で考える」ことです。例えば、授業や教科書、テレビやインターネットなどで見聞きした物事について、自分なりに考え、意見を持つようになっています。その甲斐あってか、就職試験では、自分の思ったことを堂々と話すことができました。残り少ない学校生活、1日1日を大切に、楽しみながら過ごしていきたいです。

学習



普通科 2年
加藤 涼大
碧南市立東中出身

僕は理型科目、特に物理が好きなので理型を選択しました。昨年より授業が難しくなっているの、日々予習、復習をして少しずつ学習を進めています。また放課や昼食の時に、友人と問題を出し合ったりして、勉強への意欲を高めています。僕が所属している陸上部では、仲間と共に日々厳しい練習を乗り越えています。苦しく、あきらめてしまおうになつたことが何度もありましたが、仲間と励まし合い、共に成長することができ今の環境にとっても満足しています。勉強も部活動も日々の積み重ねが大切だと思っています。将来後悔することがないように、今のうちから少しずつ努力し、夢に向かって頑張っていきたいです。

学習



総合ビジネス科 1年
阿部 舞夏
碧南市立中央中出身

総合ビジネス科では、簿記や情報処理などの商業科目を中心に学習し、たくさんの検定を取得することができました。中学校では勉強する機会のない科目ばかりで、最初の頃は不安な気持ちが大きかったですが、今は新しいことを学べる楽しさから、意欲的に学習に取り組むことができています。また、検定の取得を目指し、たくさんの問題を解いて理解を深め、合格を確かなものにできるよう頑張っています。検定問題の難しさに諦めそうになることもありますが、友達と励まし合い、同じ目標に向かって努力しています。これから先学校生活の中でどんな困難に直面しても、仲間と共に乗り越えて、充実した日々を過ごしていきたいです。

部活動



普通科 2年 [弓道部]
加藤 美海
碧南市立南中出身

弓道部では今年度、とても多くの新入生を迎えました。部員数は40人で「真・善・美」を目標に、楽しく部活動に取り組んでいます。弓道は、自分一人だけでは上達することができません。自分では分からない腕の位置や細かい反発点など、部員同士で見合い、初めて分かることもたくさんあるため、お互いにアドバイスをし、技術の向上を目指します。弓道は個人競技でもあり、団体競技でもあります。毎日笑顔で一緒に活動してくれる仲間感謝し、やる時は真剣に、楽しむ時は全力で楽しみながら、さらにお互いを高め合っていけるよう、これからも頑張っていきたいです。

部活動



普通科 2年 [園芸部]
片渕 舞子
西尾市立平坂中出身

園芸部は今年度、同好会から部活へと昇格し、多くの新入部員を迎え、和気藹々と活動しています。部活の一大イベントであるハンギングバスケット作りは年2回、PTAの方々や先生方、ボランティア部と共同で行っています。季節の花で彩られた寄せ植えは校門横のフェンスに飾られ、道行く人の目を惹きつけています。また、花壇では花や野菜を育てています。愛情を持って育てた植物の成長を見る喜びは大きく、生命の逞しさを感じずにはいられません。9月の文化祭では、初の試みでしたが、育てた向日葵やスイカの種などの「種すくい」を行い、多くの人に楽しんでもらえました。これからも活動を拡大し、植物が身近に感じられる学校を作っていきたいです。

部活動



総合ビジネス科 2年 [文芸部]
佐藤 連哉
高浜市立南中出身

文芸部は、部員11名で活動しています。文芸部の主な活動は部誌の作成で、碧高祭と卒業式の年2回、部誌を作成し配付をしています。部誌は毎月テーマを決め、部員全員がテーマに沿った小説をそれぞれ書きます。そして書いた小説をコピー・糊付けし、自分たちの手で本の形にします。文芸部は活動日が週に一度と少ないですが、部活動を行わない日は小説を書き、また、部誌を作成する際には学年を越えて協力します。僕たちはその部誌で、高文連文芸専門部作品コンクール文芸部誌部門審査員特別賞を受賞しました。今度の部誌に向けて小説を執筆中です。これからも多くの人が楽しめる小説を書けるよう頑張っていきます。

校長コラム

第6回 「社会の変化と2040年問題」 校長 鈴木 尚哉

いま、私たちを取り巻く社会は急激に変化をしています。以前から言われてきた少子化や高齢化問題に加え、この2年間のコロナ禍や今年の2月に始まったロシアのウクライナ侵攻のような国際情勢の変化、それに伴う為替相場の急激な変動や物価高騰、カーボンニュートラルに代表される環境問題と産業構造の変化など急激でしかも多様な社会の変動が起きています。実際に私たちの身の周りでも、新型コロナの感染防止対策で学校生活は以前と変わった点が多くなり、身の回りで様々な物の値段が上がったりしています。例えば、東日本大震災以降、「想定外」「予想外」という言葉が自然であるか人為であるかを問わず頻りに用いられる余り、言葉の持つ重みを感じなくなっている状況といえます。私たちは時代の変化に翻弄されがちで、全ての変化に完全に対応できるわけではありませんが、そうした中でも、よりよく生きていくために様々な学びを続けて成長していく必要があります。それは個人だけでなく碧南高校という学校組織においても同様で、変化に対応し成長をしていけるよう考えているところです。話は変わりますが「2040年問題」という言葉を聞いたことがあるでしょうか。今から約20年後の2040年の日本の人口は今より約1000万人

減少し、1億1000万人となると予想されています。そのうち現役世代は約6000万人に減少し、1人の高齢者を1.5人の現役世代で支えることになるそうです。現在、高校生は2040年には30歳代半ば、中学生は30歳代前半であり、まさに社会を支える中心的な現役世代になります。私たちの住む地域社会、医療や福祉のシステム、学校教育、働く職場である産業構造や企業・労働環境が現在とは大きく変わってくるでしょう。それに対応するためにも皆さんは、目の前の学習や学校生活を送ることと同時に、自分たちを取り巻く社会情勢の変化が今後自分の人生にどうかかわってくるのか、どう対応していくのかを考えていかねばなりません。日々の学習やそれ以外の活動が自分の将来にどう結びつくのか、ということを中心に置きながら毎日の生活を送ってください。その際に単に好き嫌い、得意不得意といった限られた視野で判断するのではなく、自らの才能を磨き、守備範囲を広くし、どのような社会の変化にも柔軟に対応できる力をつけるようにすることが大切です。社会が変化をしても基礎的な人文科学や自然科学の重要性は何ら変わりません。そして基礎学問を土台にした上で総合的な探究の時間や学校行事などを通じて生きる力を養ってください。

「総ビの学び」、味わえます

【総合ビジネス科 × 小笠原製粉・七福醸造・わっぱ堂】 オリジナル商品発売決定！



message
総合ビジネス科 3年 **荻野 心優** (高浜市立高浜中出身)
福富 琴音 (高浜市立高浜中出身)
小笠原製粉株式会社の協力の下、オリジナル商品として、恋愛運や成績がぐんぐん伸びてほしいという想いを込めた「のび〜るラーメン」を開発しました。試作や話し合い、企業の方へのプレゼンを何度も重ね、私たちの思いの詰まった最高傑作が完成しました。試行錯誤に時間がかかりとても大変だったからこそ、達成感ややりがいを感じています。



message
総合ビジネス科 3年 **長野 穂菜美** (碧南市立南中出身)
若山 涼音 (西尾市立吉良中出身)
私たちの班では、七福醸造と連携して野菜白だしの新しい商品名「野菜の笑顔」を、わっぱ堂との提携では4種類のオリジナルベーグルを共同開発しました。商品開発にあたり、食べる人のことを第一に考え、工夫を凝らして開発してきました。苦労することもあります。その分やりがいのある講座だと思います。